

スルガベイ・シミュレータ活用の研究支援説明会

<参加者募集>

令和元年度から3年度に設置した、「森は海の恋人」水の循環研究会では、陸域から流入する栄養塩物質等と駿河湾における植物プランクトン生産量の関係性を推定する、シミュレーションモデル「(愛称)スルガベイ・シミュレータ」(以下、「モデル」という。)を構築し、関係性を明らかにしました。

県は、本年度から、駿河湾の関連研究の発展を促進することを目的に、このモデルの活用による研究支援を実施します。

このたび、研究支援のスキームやモデルの解説等に関する説明会参加者を募集します。

開催日時

令和4年8月9日(火) 14:00~15:00

会場

オンライン開催 (Zoom活用) ※参加費無料 定員90名 (先着順)

説明会内容

- 水の循環研究会の概要/成果
- 研究支援のスキーム
- 提供するモデルの運用方法について

<研究支援の内容>

- モデル実行ファイルの提供
- モデルの操作に関する個別相談 等

※ モデルの演算の実施は、支援内容に含まれておりません。

参加申込方法

- ①~④をメールにてお知らせください。(締切: 令和4年8月5日(金))

①お名前 ②所属団体 ③電話番号 ④メールアドレス

※ 申込受理後にメールアドレスにZoomミーティングURLを送信します。

※ 締切前でも定員に達し次第締め切りますのであらかじめご了承ください。

主催・申込・問合せ

主催: 静岡県(環境政策課 × 水産資源課)

電話: 054-221-3597 (環境政策課 担当: 秋元)

E-mail: kankyou_seisaku@pref.shizuoka.lg.jp

「森は海の恋人」水の循環研究会とは

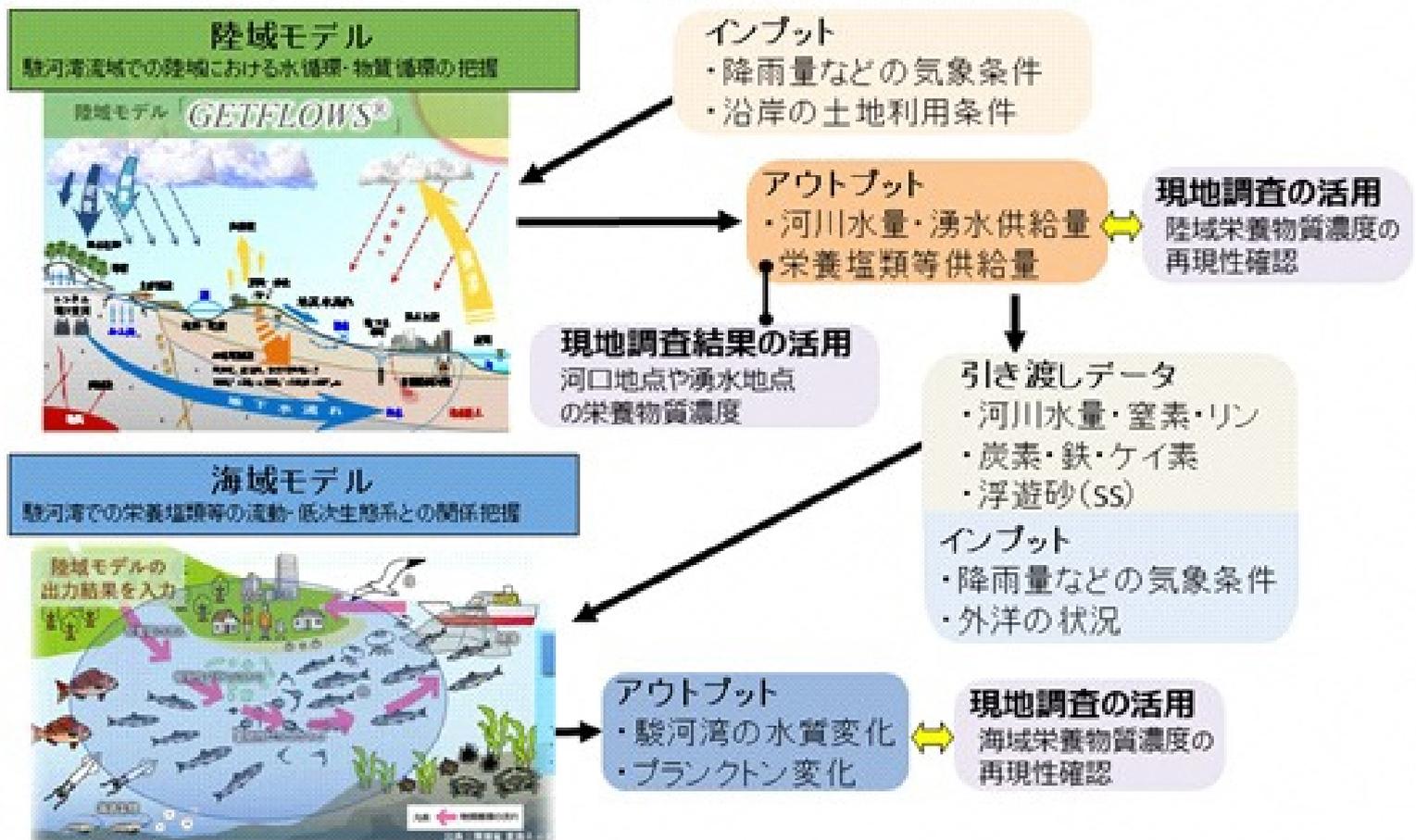
水深約2,500mの日本一深い湾として知られる駿河湾では、大井川や富士川など、栄養塩物質等を海に運ぶ大川に加え、富士山からの地下水や海底湧水等の影響も受け、生物多様性に富んだ生態系が形成されています。

県では、駿河湾の生態系の保全とその恵みの持続的な利活用に向けた実践活動につなげるため、陸域から流入する栄養塩物質等と駿河湾における生物生産との関係を分析することを目的として、令和元年度に、「森は海の恋人」水の循環研究会を設置しました。

シミュレーションモデルの概要

国等が開発した2つのモデルを改良し、連結させたもので、土地利用状況や河川水・地下水の水量、栄養塩物質の含有量等を再現する「陸域モデル」、その計算結果を受けて海域の潮流や水質等を再現するとともに、植物プランクトン生産量を推定する「海域モデル」により構成しています。

陸域から海域に至る駿河湾流域全体を包括して再現し、植物プランクトン生産を定量的に推定できる、本モデルの活用により、駿河湾の生態系の保全や持続的利活用に資する様々な事象が明らかになることが期待されます。



スルガバイ・シミュレータの活用検討例

- ・陸域（土地利用等人為的な利用を含む）・海域環境（水温、潮流等）の変化がプランクトン生産に与える影響の推定
- ・将来的に想定される温暖化などによる気候変動（気温上昇、降水量増加等）が海域の水温上昇やプランクトン生産に与える影響の推定
- ・将来的に想定される温暖化などによる気候変動や土地利用変化が陸域の水資源に与える影響の推定 等